

- 01 にほんご ほごしゃよう もくじ
日本語 保護者用 目次
- 02 しゅうがく へんにゆう てつづ
就学・編入手続きについて
- 03 にほん きょういくせいど
日本の教育制度
- 04 ようちえん
幼稚園について
- 05 しょうがっこう がっこうせいかつへん
小学校ってどんなところ？（学校生活編）
- 06 しょうがっこう ぎょうじへん
小学校ってどんなところ？（行事編）
- 07 ちゅうがっこう がっこうせいかつへん
中学校ってどんなところ？（学校生活編）
- 08 ちゅうがっこう ぎょうじへん
中学校ってどんなところ？（行事編）
- 09 ちゅうがくそつぎょうご しんろ
中学卒業後の進路について
- 10 こうこう
高校ってどんなところ？
- 11 こうこうにゆうしせいど
高校入試制度
- 12 こうこうそつぎょうご
高校卒業後
- 13 がっこう つか どうぐ しょうかい
学校で使ういろいろなもの・道具を紹介
- 14 がっこう ちいき つうやくせいど
学校・地域の通訳制度
- 15 がいこくじんがっこう
外国人学校のリスト
- 16 がっこう ちいき にほんごきょうしつ
学校・地域の日本語教室
- 17 せいかついつぱん しゅうろうもんだい いりょうもんだい きょういくかんけい そうだんさき まどぐちいちらん
生活一般、就労問題、医療問題、教育関係の相談先（窓口一覧）
- 18 がっこう こ せんもんてき おし せいど おおさか ふ じんざい
学校で子どもたちに専門的なことを教える制度（大阪府人材バンク）
- 19 しごと しょうかい いちらん
仕事を紹介してくれるところ（ハローワーカー一覧）
- 20 しごと せんもんてき ちしき ぎじゆつ おし がっこう はたら ぎじゆつ み
仕事をするための専門的な知識や技術を教える学校（働くための技術を身につける）
- 21 ちゅうがくそつぎょうご きこく こ しんろ
中学卒業後は？、もうすぐ帰国するのですが？（子どもの進路）
- 22 がっこう い ふどうこう
学校に行きたがらないのですが？（不登校になった）

しゅうがく へんにゅう てつづ
02 就学・編入手続きについて **TOP**

にゅうえん ようちえん はじ べんきょう
◎ 入園 (その幼稚園で、初めから勉強する)

ようちえん にゅうえん
◆ 幼稚園への入園

- あら らいにち ざいりゅう こうふ かた ざいりゅう も かくしちょうそんく やくしよし みんか じゅうみんか
1. 新たに来日され在留カードが交付された方は、在留カードを持って各市町村区役所市民課 (または住民課/
かくしちょうそんく よ かた ちが い じゅうきよち とど で じゅうみんとうろく
各市町村区によって呼び方が違います) へ行き、住居地の届け出をします。(住民登録)
- こ かよ おも ようちえん にゅうえんがんしよ ひつようじこう きにゅう ようちえん ていしゆつ
2. 子どもを通わせたいと思う幼稚園で「入園願書」をもらい、必要事項を記入して、幼稚園に提出します。
- してい ひ もう こ ようちえん い
3. 指定された日に、申し込みをした幼稚園に行きます。

にゅうがく がっこう はじ べんきょう
◎ 入学 (その学校で、初めから勉強する)

しょうがっこう ちゅうがっこう にゅうがく
◆ 小学校・中学校への入学

- あら らいにち ざいりゅう こうふ かた ざいりゅう も かくしちょうそんく やくしよし みんか じゅうみんか
1. 新たに来日され在留カードが交付された方は、在留カードを持って各市町村区役所市民課 (または住民課/
かくしちょうそんく よ かた ちが い じゅうきよち とど で じゅうみんとうろく
各市町村区によって呼び方が違います) へ行き、住居地の届け出をします。(住民登録)
- かくしちょうそん きょういく いんかいがくむ か がくじか にゅうがく つた しゅうがくあんないしよ ひつようじこう き
2. 各市町村の教育委員会学務課 (学事課) で「入学したい」と伝えます。就学案内書をもって必要事項を記
にゅう まどぐちたんとうしゃ ていしゆつ じゅうみんとうろく す ほごしや こ がくれいき たつ
入し、窓口担当者に提出します。また、すでに住民登録をして住んでいる保護者には、子どもが学齢期に達す
す しちょうそん きょういく いんかい しゅうがくあんない おく しゅうがく しんせいしよ ひつようじこう きにゅう
ると、住んでいる市町村の教育委員会から就学案内が送られてきますので、就学の申請書に必要事項を記入
ていしゆつ
し、提出します。
- ごじつ やくしよ にゅうがくつう ちしよ おく にゅうがく がっこう なまえ ばしよ たし まどぐち しんせい
3. 後日、役所から「入学通知書」が送られてきますので、入学する学校の名前や場所を確かめます (窓口で申請
ばあい ば にゅうがくきよかしよ
する場合は、その場で「入学許可書」をもらうことがあります)。
- してい ひ してい がっこう こ ほごしや い とき がくむか がくじか にゅうがく
4. 指定された日に、指定された学校に子どもと保護者が行きます。その時、学務課 (学事課) でもらった「入学
きよかしよ にゅうがくつう ちしよ も にほん がっこう ねんれい がくねん き がつふつか よく
許可書 (入学通知書)」を持っていきます。日本の学校は、年齢によって学年が決まります (4月2日から翌
とし がついつちち う ひと おな がくねん
年の4月1日までに生まれた人は、同じ学年になります)。

しょう ちゅうがっこう にほんご じゆぎょう むずか ばあい きょうしつ つうやく ひと ちいき
小・中学校では、日本語での授業が難しい場合は、教室に通訳の人にきてもらうことができる地域もあります。
また授業に通訳の人が参加するのは難しくても、懇談会などの保護者が学校へ来るときに通訳の人が同席できる場
じゆぎょう つうやく ひと さんか むずか こんだんかい ほごしや がっこう く つうやく ひと どうせき
合があります。詳しくは学校の先生に相談してください。
あい かわ がっこう せんせい そうだん
(高校や幼稚園でも、懇談会などで通訳の人が同席できる場合があります)

こうこう にゅうがく
◆ 高校への入学

- こうこう にゅうがく ばあい にゅうがくしけん う
・高校へ入学する場合は、入学試験を受けなければなりません。
くわ ちゅうがくそつぎょうご しんろ こうこうにゅうしせいど らん
詳しいことは、「[中学卒業後の進路について](#)」のページや、「[高校入試制度](#)」のページをご覧ください。

◎編入学 (途中から勉強する)

◆小学校・中学校への編入学

1. 新たに来日され在留カードが交付された方は、在留カードを持って各市町村区役所市民課（または住民課/各市町村区によって呼び方が違います）へ行き、住居地の届け出をします（住民登録）。
2. 各市町村の教育委員会学務課（学事課）で、編入学希望を伝え、就学案内書をもらい、必要な事項を書いて窓口担当者に提出します。
3. 指定された日に、指定された学校に行きます。その時に学務課（学事課）でもらった「編入学許可書」を持って行きます。

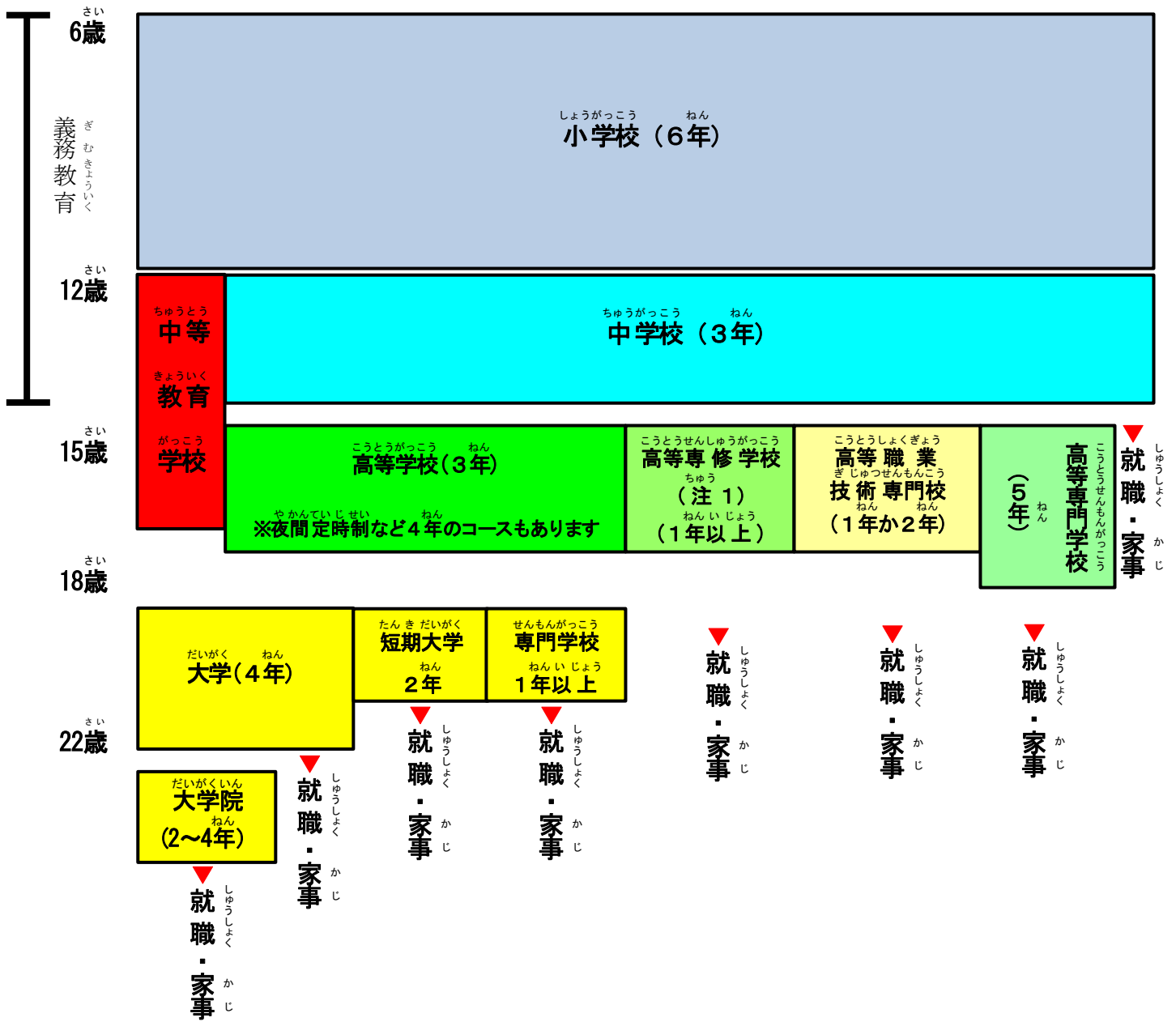
◆高校への編入学

大阪府立高校の全日制は、保護者と本人が大阪府内に住んでいること、定時制では、本人が大阪府内に住んでいるか、働いていることという条件があります。また、外国で通っていた学校の成績証明書が必要です。

1. 大阪府教育庁（教育振興室 高等学校課 学事グループ）に高校に編入したいということを伝えます。
2. 教育庁では、編入学の資格があるかどうかを確認し、日本語の能力等を把握した上で編入学先の相談を進めていきます。
3. 各学期の始まる直前に編入学試験を実施します。編入学試験の内容については、学校によって多少違いますが、通常学力試験を行います。
4. 編入学試験に合格すると、その高校に編入学できます。

にほん がっこうせいど
日本の学校制度

にほん きょういくせいど
03日本の教育制度 TOP



ようちえん
04幼稚園について [TOP](#)

幼稚園は子どもたちがはじめて通う教育施設です。満3歳から小学校入学前までの子どもは、日本全国どこでも共通の教育課程に基づく教育が受けられます。（幼稚園によっては、満3歳の誕生日を迎えた時点で、4月を待たずに入園できるようになっています）幼稚園は、子どもたちが初めての集団生活の中で、一人ひとりのよさや可能性を伸ばしていくところです。

幼稚園では、小学校や中学校とは違って、教科書などを使わず、「遊び」中心の教育を行っています。子どもたちは幼稚園で様々な遊びを通して、うまく人とかわれるようになったり、言葉が豊かになったり、自然の美しさや不思議さなどに気付いたりするようになります。これが小学校以降の学習の基盤をつくっています。

「遊び」としても、幼稚園では、先生があらかじめ一人ひとりの子どもの発達に必要な経験を見通して指導計画を立てています。これをもとに継続的な指導を行っています。

がくねん
【学年】

3歳児クラス、4歳児クラス、5歳児クラスの3学年あります。

【先生】

1クラス35人以下で、担任の先生が1人つきます。

他に園長先生や事務担当の人などがいます。

がく
【学区】

公立は学区指定がありますが、私立は特にありません。

やすみ
【休み】

夏休み、冬休み、春休みがあります。また公立の幼稚園は土曜日も休みです。

しりつ こうりつ ちが
私立と公立の違い

どちらも文部科学省の定めている教育要領にそって、毎日の活動を行なっていますが、私立では、保育料が高い分、英語の時間がある、延長保育の時間が長いなどのサービスがあります。

●おも ねんかんぎょうじ ようちえん か主な年間行事（幼稚園によって変わります）

がつ がつき しぎょうしき にゆうえんしき かていほうもん
4月 1学期始業式、入園式、家庭訪問

がつ こ ひ べんとうはじ えんそく
5月 子どもの日、お弁当始まり、遠足*

がつ むしほよほう けんこうしんだん
6月 虫歯予防デー、健康診断

がつ みずあそ たなばたまつ とまほいく がつきしゅうぎょうしき
7月 水遊び、七夕祭り、お泊り保育、1学期終業式

がつ なつやす
8月 夏休み

がつ がつき しぎょうしき けいろう ひ
9月 2学期始業式、敬老の日

がつ うんどうかい いもほ えんそく
10月 運動会、芋掘り、遠足*

がつ しちごさん きんろうかんしゃ ひ
11月 七五三、勤労感謝の日

がつ はっぴょうかい かい おおそうじ がつきしゅうぎょうしき
12月 発表会、クリスマス会、大掃除、2学期終業式

がつ ふゆやす がつき しぎょうしき
1月 冬休み、3学期始業式

がつ せつぶんまめ
2月 節分豆まき

がつ そつえんしき がつきしゅうぎょうしき はるやす
3月 ひなまつり、卒園式、3学期終業式、春休み

* おや こ えんそく えんじ せんせい い えんがいほいく親子遠足や、園児と先生だけで行く園外保育があります。

ほか まいつき つきう こ たんじょうび いわ たんじょうかい
他に、毎月その月生まれの子どもの誕生日を祝う誕生会があります。

しょうがっこう がっこうせいかつへん 05 小学校ってどんなところ？ (学校生活編) TOP

おおさか こうりつしょうがっこう つぎ き がっこう ちが かよ がっこう
大阪の公立小学校では、次のような決まりがあります。学校ごとに違うこともありますので、あなたの通う学校の
せんせい き
先生に聞いてください。

とうこう ◆登校

1 通学路

あんぜん がっこう い かえ がっこう い かえ とお みち き
安全に学校に行ったり帰ったりできるように、学校に行くときや帰るときに通る道が決められています。これを「通
がくろ い あぶ みち がっこう き みち とお
学路」と言います。なるべく危なくない道を学校が決めていますので、その道を通るようにしましょう。

2 通学の仕方

○集団登校

ちか す こ いっしょ がっこう い ほうほう
近くに住む子どもたちが1つのグループとなって一緒に学校へ行く方法です。

おく あつ ばしょ い
遅れないように集まる場所へ行くようにしましょう。

○個人登校

ひとり ちか す こ いっしょ がっこう い ほうほう
一人か、近くに住む子どもと一緒に学校へ行く方法です。

しぎょうじこく がっこう はじ じかん ◆始業時刻 (学校が始まる時間)

がっこう ごぜん じ ふん じ ぶん はじ おそ ぶん まえ つ がっこう い
学校は午前8時25分から8時30分ぐらいに始まります。遅くとも10分くらい前に着くように学校に行きましょう。
しぎょうじこく がっこう い ばあい ちこく ちこく びょうき やす かなら がっこう
始業時刻までに学校に行かない場合は「遅刻」になります。遅刻するときや、病気などで休むときには、必ず学校
れんらく
に連絡をしてください。

がっこう じかん ◆学校にいる時間

じゅぎょう かず かえ じかん ようび がくねん か しょうがっこう ねんせい ごぜん じ ぶんごろ はじ ごぜんちゅう じ
授業の数や帰る時間は曜日や学年によって変わります。小学校6年生では午前8時30分頃に始まり、午前中4時
げん じげん ふん じゅぎょう ひる ほん あと じげん じゅぎょう じち じげん じゅぎょう たん
限(1時限は45分)の授業があります。昼ご飯の後2時限の授業があり、1日だいたい5～6時限です。授業は担
にん せんせい ちゅうしん おし
任の先生が中心になって教えます。

きゅうしょく がっこう ようい ちゅうしょく べんとう いえ も ちゅうしょく ◆給食 (学校で用意する昼食) または弁当 (家から持ってくる昼食)

おおさか ふない しょうがっこう きゅうしょく がっこう ようい ちゅうしょく きゅうしょく こ こうたい
大阪府内のほとんどの小学校では、給食(学校で用意する昼食)があります。給食では子どもたちが交代で
じゅんばん じぶん はん くぼ あと きゅうしょくとうばん きゅうしょくがかり がつき
順番に、自分たちでご飯を配ったり、後かたづけをしたりします。これは給食当番(給食係)といいます。学期
のはじめや特別な行事があるときは、給食のない場合もあります。また、弁当(家から持ってくる昼食)が必要
ばあい とき がっこう し しゅうきょうじょう りゆう た
な場合もあります。その時には学校からお知らせがあります。宗教上の理由や、アレルギーなどで食べられないもの
があるときは、担任の先生に相談してください。

がっこうきゅうしょく ざいりょうひ ほ ごしや はら かげつ えん えん
学校給食の材料費は、保護者が払います。1ヶ月にだいたい4,000円から5,000円ぐらいします。

せいそうじかん ◆清掃時間

しょうがっこう ひる ほん あと そうじ じかん こ がっこう きょうしつ かいだん ろうか
小学校では昼ご飯の後に掃除をするための時間があります。子どもたちが学校の教室、階段、廊下、トイレなどを
せいそう じぶん べんきょう ばしょ じぶん
清掃します。自分たちが勉強する場所を、自分たちできれいにしましょう。

げこう ◆下校

がっこう く おな つうがくろ とお いえ かえ がっこう かえ じかん がくねん ようび ちが
学校に来るときと同じように、通学路を通して家に帰ります。学校から帰る時間は学年や曜日によって違います。

ぎょうじ じかん か じかん か がっこう れんらく
行事があるときなどは、また時間が変わります。時間が変わるときは学校から連絡があります。

◆服装

おお しょうがっこう じぶん す ふく き い せいふく ひょうじゆんふく き ふく がっ
多くの小学校は自分の好きな服を着て行くことができますが、「制服」「標準服」という決められた服がある学
校もあります。

たいいく じかん うんどう たいそうふく き が たいいくかん うわぐつ べつ たいいくかん つか くつ ひつよう
「体育」の時間は、運動しやすい「体操服」に着替えます。体育館では、上靴とは別に体育館だけで使う靴が必要な
学校があります。「給食当番」になって、給食を配るときは、エプロン・マスク・帽子を着用します。マスクは
自分のものを使います。

なつ すいスイ と き みずぎ すいスイぼうし ひつよう じぶん ようい じぶん じぶん なまえ か
夏の「プール（水泳）」の時には、水着と水泳帽子が必要で、自分で用意します。自分のものには、自分の名前を書
いておきます。

くわ がっこう き
詳しくは学校で聞いてください。

◆学級について

がっきゅう にん い ない こ たんにん せんせい じゆぎょう たんにん せんせい ちゆうしん おし
学級（クラス）には40人以内の子どもたちと担任の先生がいます。授業は担任の先生が中心になって教えます。
がくねん がっこう ず が こうさく おんがく か てい べつ せんせい おし ほか なんにん せんせい おし ぼ
学年や学校によっては、図画工作・音楽・家庭などを別の先生が教えることもあります。他に何人かの先生で教える場
合もあります。

かくきょう か がくしゆう はじ お がっきゅう かつどう いろいろ がっこう ぎょうじ がっきゅう おこな おお
※各教科の学習や始まりと終わりの学級（クラス）活動、色々な学校の行事は、学級ごとに行うことが多い
ので、わからないことや困ったことがあれば、すぐに担任の先生に相談してください。

◆学習内容

がっこう べんきょう
学校ではこんな勉強をします。

しょうがっこう ねんせい
小学校1・2年生
こくご さんずう せいかつ おんがく ず が こうさく たいいく とくべつ きょうか どうとく
国語、算数、生活、音楽、図画工作、体育、特別の教科「道徳」

しょうがっこう ねんせい
小学校3・4年生
こくご さんずう しゃかい りか おんがく ず が こうさく たいいく とくべつ きょうか どうとく がいこくご かつどう
国語、算数、社会、理科、音楽、図画工作、体育、特別の教科「道徳」、外国語活動

しょうがっこう ねんせい
小学校5・6年生
こくご さんずう しゃかい りか おんがく ず が こうさく たいいく かてい とくべつ きょうか どうとく がいこくご
国語、算数、社会、理科、音楽、図画工作、体育、家庭、特別の教科「道徳」、外国語

ほか とくべつかつどう がっきゅうかつどう じどうかいかつどう かつどう がっこうぎょうじ そうごうてき がくしゆう じかん
※他に特別活動（学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事）、総合的な学習の時間があります。
とくべつかつどう じどうかいかつどう がっこう せいかつ よ こ おこな じしゆてき かつどう い
特別活動とは、児童会活動のように、学校の生活をより良くするために子どもたちが行う自主的な活動を言
います。

◆学習道具

がくしゆう つか きょうか しょ むりょう きょうか しょ いがい ひつよう きほんてき かてい ようい
学習に使う教科書は無料です。教科書以外に必要なものは基本的には家庭で用意してもらいます。

いくつかの教科では、自分だけが使う道具が必要なことがあります。

こくご とうご ずみ
国語 → 毛筆、墨など
おんがく けんぼん
音楽 → 鍵盤ハーモニカ（ピアノ）、リコーダーなど
ず が こうさく すいさいえ ぐ
図画工作 → 水彩絵の具、クレヨン、クレパスなど
かてい さいほうどうぐ
家庭 → 裁縫道具など

きょうか がっこう してい がっこう ぜんいんぶんこうにゆう かね ちようしゆう ぼあい
教科によっては、学校が指定するものを学校がまとめて全員分購入するためにお金を徴収する場合があります。

◆つうやく通訳について

まだ日本語を話すことが難しい保護者や子どもたちが、学校や担任の先生とうまく話ができるように、通訳を呼ぶことができる学校もあります。詳しくは学校の先生に聞いてください。

◆けんこうしんだん健康診断

【健康診断について】

日本の学校では、必要に応じて健康診断を行っています。健康診断にはいろいろな種類があります。

- ・保健調査（今までにかかった病気や、今健康かどうかを調べます）
- ・身長（背の高さ）・体重（からだの重さ）、内科検診（お腹の中の様子）、眼科検診（目が健康かどうか）、耳鼻科検診（耳と鼻が健康かどうか）、歯科検診（歯が健康かどうか）、視力検査（どれくらい見えるか）、聴力検査（音が聞こえるか）
- ・結核検診
- ・心臓検診（心電図検査） 小学校1年生が全員受けます
- ・尿検査（おしっこの検査）

※他にも、水泳の授業の前、マラソンや登山などをする前、修学旅行などに行く前に検査を受けることがあります。

◆つうちひょう通知表

子どもの学校での学習の成果（成績）や学校生活の様々な活動の様子が書いてあります。終業式の日にもらい、保護者に見せてから、次の学期始め（始業式の日）に担任に渡します。

しょうがっこう ぎょうじへん 06 小学校ってどんなところ？（行事編） TOP

しょうがっこう ねん 小学校の1年

がっこう まいとし がつ はじ がつ お ねん がつき わ がっこう ぎょう
学校は毎年4月に始まり、3月に終わります。1年は2つから3つの学期に分かれています。学校ではいろいろな行
し おこな じ なか ほ ごしゃ がっこう き とくべつ かね くわ
事を行います。その中には、保護者にも学校に来てもらうものや、特別にお金がかかるものもあります。詳しいことは
がっこう し がっこうぎょうじ なまえ ないよう す ちいき がっこう がくねん ちが
学校からお知らせがあります。学校行事の名前や、内容などはあなたの住んでいる地域や学校、学年によっても違い
ますが、代表的なものを3学期制にあてはめて紹介します。

がつき がつ 1学期（おおよそ4～7月）

● しぎょうしき 始業式

がつき はじ ひ ぎょうじ おお ぼあい ぜんがくねん あつ
学期の始まりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

● にゅうがくしき 入学式

ねんせい にゅうがく こ いわ ぎょうじ ほ ごしゃ しゅつせき
1年生に入学する子どもたちをお祝いする行事です。保護者も出席します。

● けんこうしんだん 健康診断

けんこう いしゃ み
からだの健康かどうかをお医者さんが診ます。

● しんたいそくてい 身体測定

せ たか おも はか
背の高さやからだの重さなどを測ります。

● かていほうもん 家庭訪問

たんいん こ いえ い こ かてい せいかつ ほ ごしゃ はな あ
担任が子どもの家に行き、子どもの家庭での生活について保護者と話し合います。

● こうがくしゅう へんそく 校外学習（遠足）

きょうしつ べんきょう がっこう そと で しぜん れきし ぶんか ふ べんきょう
教室では勉強できないことを学校の外に出て、自然や歴史・文化に触れながら勉強します。

● じゅぎょうさんかん 授業参観

こ がっこう まいにち せいかつ し ほ ごしゃ じゅぎょう み
子どもたちが学校で毎日どのように生活しているかを知るために、保護者が授業を観ます。

● こんだんかい 懇談会

たんいん ほ ごしゃ がつき べんきょう がっこう かてい せいかつ ようす はなし
担任と保護者が、学期ごとに勉強や学校、家庭での生活の様子について話をします。

● がつきゅう こんだんかい 学級（クラス）懇談会

がつきゅう たんにん ほ ごしゃ こ はな あ
学級（クラス）で担任と保護者が子どもたちのことについて話し合います。

● さんしゃこんだん こじんこんだんかい 三者懇談（個人懇談会）

たんいん ほ ごしゃ こ にん にん がっこう かてい せいかつ はな あ かくがつき お
担任と保護者、子どもが3人（4人）で、学校や家庭での生活について話し合います。だいたい各学期の終わりにあ
ります。

● すいえいじゅぎょう 水泳授業（プール）

おお しょうがっこう がっこうはん がつ およ れんしゅう じゅぎょう
多くの小学校にはプールがあり、6月後半から7月にかけて泳ぐ練習をする授業があります。

● しゅうぎょうしき 終業式

がつき お ひ ぎょうじ おお ぼあい ぜんがくねん あつ
学期の終わりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

● なつやす がつまつ がつまつ 夏休み（7月末～8月末）

やく にち にちかん なが やす あいだ すいえい ぶ かつどう がっこう い ひ
約30日～40日間の長い休みです。休みの間に水泳や部活動（クラブ）のために学校に行く日もあります。

2学期 (おおよそ9~12月)

● 始業式

● 運動会

かけっこ (徒競走) やリレー、ダンスなどをしたり、学級 (クラス) の友だちの応援をしたりしながら、運動を楽しむ行事です。学校によっては保護者や家族が参加できるものもあります。たいていの小学校では「運動会」と呼ばれます。1学期に行う学校もあります。

● 修学旅行

6年生になると、学年全員で泊まりの旅行をします。1学期に行う学校もあります。

● 文化祭・学習発表会・学芸会

図画工作、家庭科などで作ったものや、社会科、理科などで勉強したレポートなどを展示したり、楽器の演奏や合唱、演劇等の発表をしたり、それらを観たり聞いたりして楽しむ会です。たいてい保護者も見学できます。

● 終業式

● 冬休み (12月末~1月初め)

約2週間の休みです。

3学期 (おおよそ1~3月)

● 始業式

● 卒業式

卒業を認められた人に卒業証書を渡し、祝う行事です。

● 修了式

1年間の終わりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

● 春休み (3月末~4月初め)

修了式が終わると、春休みになります。この休みが終わるとひとつ上の学年に進み、4月から新しい学年で勉強することになります。

07 中学校ってどんなところ？（学校生活編） TOP

おおさか こうりつちゅうがっこう つぎ き がっこう ちが かよ がっこう
大阪の公立中学校では、次のような決まりがあります。学校ごとに違うこともありますので、あなたの通う学校の
せんせい き
先生に聞いてください。

◆登校

1 通学路

あんぜん がっこう い かえ がっこう い かえ とお みち き
安全に学校に行ったり帰ったりできるように、学校に行くときや帰るときに通る道が決められています。これを「通
がくろ よ あぶ みち がっこう き みち とお
学路」と呼んでいます。なるべく危なくない道を学校が決めていますので、その道を通るようにしましょう。

2 通学の仕方

ひとり ちか す こ いっしょ がっこう い ちゅうがっこう こじんとうごう
一人か、近くに住む子どもと一緒に学校へ行きます。中学校ではほとんど個人登校になっています。

◆始業時刻（学校が始まる時間）

がっこう ごぜん じ ふん じ ふん はじ おそ ふん まえ つ がっこう い し
学校は午前8時25分から8時30分ぐらいに始まります。遅くとも10分くらい前に着くように学校に行きましょう。始
ぎょうじこく がっこう い ばあい ちこく ちこく びょうき やす かなら がっこう
業時刻までに学校に行かない場合は「遅刻」になります。遅刻するときや、病気などで休むときには、必ず学校に
れんらく
連絡をしてください。

◆学校にいる時間

じゅぎょう かず 帰る じかん ねんせい ねんせい おな ごぜん じ ぶんごろ はじ ごぜんちゅう じげん じげん
授業の数や帰る時間は1年生から3年生までほとんど同じです。午前8時30分頃に始まり、午前中4時限（1時限
ぶん じゅぎょう ひる ほん あと じげん じゅぎょう には じげん じゅぎょう きょうか せん
は50分）の授業があります。昼ご飯の後2時限の授業があり、1日だいたい5～6時限です。授業は教科ごとに先
せい か おし
生が替わって教えます。

◆給食（学校で用意する昼食）または弁当（家から持ってくる昼食）

がっこうきゅうしょく がっこう ようい ちゅうしょく べんとう いえ も ちゅうしょく
学校給食（学校で用意する昼食）があるかどうかは中学校によってちがいます。中学生全員が給食の対象
ばあい もう ひと たいしょう ばあい がっこうきゅうしょく がっこう べんとう も い
となる場合と、申し込んだ人が対象となる場合もあります。学校給食がないときには、学校へ弁当を持って行っ
べんとう がっこうない た じたく た かえ べんとう も い ばあい も
てください。弁当は学校内で食べます（自宅へ食べに帰ったりはしません）。弁当を持って行けない場合は、パンを持っ
ていくなどしましょう。学校でパンを売っている学校もあります。学校給食のある学校の場合、子どもたちが交代で
じゅんぱん じぶん はん くば あと きゅうしょくとうばん きゅうしょくがかり
順番に、自分たちでご飯を配ったり、後かたづけをしたりします。これは給食当番（給食係）といいます。
がっき とくべつ ぎょうじ きゅうしょく ばあい べんとう いえ も ちゅうしょく
学期のはじめや特別な行事があるときは、給食のない場合もあります。また、弁当（家から持ってくる昼食）
ひつよう ばあい とき がっこう し
が必要な場合もあります。その時には学校からお知らせがあります。

しゅうきょうじょう りゆう た たんにん せんせい そうだん
宗教上の理由や、アレルギーなどで食べられないものがあるときは、担任の先生に相談してください。

がっこうきゅうしょく ざいりょうひ ほ ごしゃ はら かげつ えん えん
学校給食の材料費は、保護者が払います。1ヶ月にだいたい4,500円から6,000円ぐらいします。

◆清掃時間

ちゅうがっこう がっこう かえ まえ そうじ じかん こ がっこう きょうしつ かいだん ろうか
中学校では学校から帰る前に掃除をするための時間があります。子どもたちが、学校の教室、階段、廊下、トイレ
せいそう じぶん べんきょう べしょ じぶん
などを清掃します。自分たちが勉強する場所を、自分たちできれいにしましょう。

◆クラブ活動

ほうかご じぶん とくい うんどう ぶんかてき かつどう おこな
放課後は、自分の得意な運動や文化的な活動を行うことができます。

◆げこう下校

がっこう 学校に来るときと同じように、おな 通学路を通してお 家に帰ります。がっこう 学校から帰る時間はかえ 学年や曜日によって違います。ぎょうじ 行事があるときなどは、じかん 時間が変わります。がっこう 時間が変わるときは学校から連絡があります。

◆ふくそう服装

ほとんどのちゅうがっこう 中学校はがっこう 学校ごとに、せいふく 「制服」ひょうじゆんふく 「標準服」という決められた服（なつよう 夏用・ふゆよう 冬用）があり、それをき 着て登校とう します。

「たいいく 体育」の時間は、うんどう 運動しやすい「たいそうふく 体操服」に着替き えます。体育館では、たいいくかん 上靴とは別に体育館だけで使う靴つか が必要な学校がっこう があります。体操服等も、多くの中学校で、学校ごとに決められています。夏の「すいえい プール（水泳）」の時には、みずぎ 水着と水泳帽子すいえいぼうし が必要で、自分で用意ひつよう します。自分のものには自分の名前じぶん を書いておきます。くわ 詳しくは学校で聞いてください。

◆がっきゅう学級について

がっきゅう 学級（クラス）には担任たんにん の先生せんせい の他にほか 副担任ふくたんにん の先生せんせい がいることがあります。じゆぎょう 授業は教科きょうか ごとに担当たんとう する先生せんせい があります。

※各教科かくきょうか の学習がくしゅう や始まりはじ と終わりお の学級（クラス）活動がっきゅう 、色々な学校かつどう の行事いろいろ は、学級がっこう ごとに行うことが多ぎょうじ いので、わからないことが や困が ったことが あればが すぐに担任が の先生せんせい などそ に相談そうだん してください。

◆がくしゅうないよう学習内容

こくご 国語、すうがく 数学、しゃかい 社会、りか 理科、おんがく 音楽、びじゆつ 美術、ほけんたいいく 保健体育、ぎじゆつ 技術・かてい 家庭、がいこくご 外国語（英語）、えいご 特別とくべつ の教科きょうか 「どうとく 道徳」があります。

※他に、特別活動とくべつかつどう（学級活動がっきゅうかつどう、生徒会活動せいと、学校行事がっこうぎょうじ）、総合的な学習そうごうてき の時間がくしゅう があります。

◆がくしゅうどうぐ学習道具

学習がくしゅう に使う教科書つか は無料きょうか です。教科書以外きょうか で必要なものきほんてき は、基本的には家庭かてい で用意ようい してもらいます。

いくつかの教科きょうか では、自分じぶん だけが使う道具つか が必要なことがあります。

こくご 国語 → もうひつ 毛筆、すみ 墨など

ぎじゆつ 技術・かてい 家庭 → さいほうどうぐ 裁縫道具など

きょうざい 教材によっては、学校が が指定が するものを学校が がまとめて全員分ぜんいんぶん 購入こうにゆう するために、かね お金を徴収ちやうしゆう する場合ばあい もあります。

◆つうやく通訳派遣について

まだ日本語にほんご を話すことが難はな しい保護者むすか や子どもほ たちが、学校が や担任たんにん の先生せんせい とうまく話はなし ができるように、通訳つうやく を呼ぶことができる学校が もあります。詳しくは学校が の先生せんせい に聞いてください。

◆健康診断

【健康診断について】

日本の学校では、必要に応じて健康診断を行っています。健康診断はいろいろな種類があります。

- ・ 保健調査（今までにかかった病気や、今健康かどうかを調べます）
- ・ 身長（背の高さ）・体重（からだの重さ）、内科検診（お腹の中の様子）、眼科検診（目が健康かどうか）、耳鼻科検診（耳と鼻が健康かどうか）、歯科検診（歯が健康かどうか）、視力検査（どれくらい見えるか）、聴力検査（音が聞こえるか）
- ・ 結核検診
- ・ 心臓検診（心電図検査） 中学校1年生全員が検査を受けます
- ・ 尿検査（おしっこの検査）

※他にも、水泳の授業の前、マラソンや登山などをする前、修学旅行などに行く前に検査を受けることがあります。

◆定期テスト

中学校では、年間に5～6回の定期的なテスト（中間テスト・期末テスト）があります。教科によっては、学期に1回だけのもの、2回のもの、テストは全くしないで、日頃の授業への取り組みなどから判断する教科もあります。定期テストの期間は2～3日です。

定期テストの他に、宿題テストや実力テストを行う学校もあります。詳しくは学校の先生に聞いてください。

◆通知表

子どもの学校での学習の成果（成績）や学校生活の様々な活動の様子が書いてあります。終業式の日にもらい、保護者に見せてから、次の学期始め（始業式の日）に担任に渡します。

ちゅうがっこう ぎょうじへん
08 中学校ってどんなところ？（行事編） [TOP](#)

ちゅうがっこう ねん
中学校の1年

がっこう まいとし がつ はじ がつ お ねん がつき わ がっこう
学校は毎年4月に始まり、3月に終わります。1年は2つから3つの学期に分かれています。学校ではいろいろな
ぎょうじ おこな なか ほ ごしや がっこう き とくべつ かね くわ
行事を行います。その中には、保護者にも学校に来てもらうものや、特別にお金がかかるものもあります。詳しい
ことは学校からお知らせがあります。学校行事の名前や、内容などはあなたの住んでいる地域や学校、学年によっ
ても違いますが、代表的なものを3学期制にあてはめて紹介します。

がつき がつ
1学期（おおよそ4～7月）

しぎょうしき
● 始業式

がつき はじ ひ ぎょうじ おお ぼ あい ぜんがくねん あつ
学期の始まりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

にゅうがくしき
● 入学式

ねんせい にゅうがく こ いわ ぎょうじ ほ ごしや しゅつせき
1年生に入学する子どもたちをお祝いする行事です。保護者も出席します。

けんこうしんだん
● 健康診断

からだ けんこう いしや み
身体が健康かどうかをお医者さんが診ます。

しんたいそくてい
● 身体測定

せ たか おも はか
背の高さやからだの重さなどを測ります。

かていほうもん
● 家庭訪問

たんいん こ いえ い こ かてい せいかつ ほ ごしや はな あ
担任が子どもの家に行き、子どもの家庭での生活について保護者と話し合います。

こうがいがくしゅう えんそく
● 校外学習（遠足）

きょうしつ べんきょう がっこう そと で しぜん れきし ぶんか ふ べんきょう
教室では勉強できないことを学校の外に出て、自然や歴史・文化に触れながら勉強します。

じゅぎょうさんかん
● 授業参観

こ がっこう まいにち せいかつ し ほ ごしや じゅぎょう み
子どもたちが学校で毎日どのように生活しているかを知るために、保護者が授業を参観します。

こんだんかい こじんこんだん
● 懇談会（個人懇談）

たんいん ほ ごしや がつき べんきょう がっこう かてい せいかつ ようす はなし
担任と保護者が、学期ごとに勉強や学校、家庭での生活の様子について話をします。

がっきゅう こんだんかい
● 学級（クラス）懇談会

がっきゅう たんにん ほ ごしや こ はな あ
学級（クラス）で担任と保護者が子どもたちのことについて話し合います。

さんしゃこんだん こじんこんだんかい
● 三者懇談（個人懇談）

たんいん ほ ごしや こ にんいじょう がっこう かてい せいかつ はな あ かくがつき お
担任と保護者、子どもの3人以上で、学校や家庭での生活について話し合います。だいたい各学期の終わりにありま
す。

しゅうがくりょこう
● 修学旅行

ちゅうがっこう ねんせい がくねんぜんいん と りょこう がつき い おお
中学校は3年生になると、学年全員で泊まりの旅行をします。1学期に行くことが多いです。

すいえいじゅぎょう
● 水泳授業（プール）

おお ちゅうがっこう がっこうはん がつ およ れんしゅう じゅぎょう
多くの中学校にはプールがあり、6月後半から7月にかけて泳ぐ練習をする授業があります。

しゅうぎょうしき
● 終業式

がつき お ひ ぎょうじ おお ぼ あい ぜんがくねん あつ
学期の終わりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

なつやす がつまつ がつまつ
●夏休み（7月末～8月末）

やく にち にちかん なが やす やす あいだ すいえい ぶかつどう がっこう い ひ
約30日～40日間の長い休みです。休みの間に水泳や部活動（クラブ）のために学校に行く日もあります。

がっき がつ
2学期（おおよそ9～12月）

しぎょうしき
●始業式

たいいくたいかい うんどうかい
●体育大会（運動会）

たんきより そう がっきゅう とも おうえん うんどう たの ぎょうじ
短距離走やリレー、ダンスなどをしたり、学級（クラス）の友だちの応援をしたりしながら、運動を楽しむ行事です。学校によっては保護者や家族も参加できるものもあります。たいていの中学校では「体育大会」や「体育祭」と呼びます。1学期に行く学校もあります。

ぶんかさい がくしゅうはっぴょうかい がくげいかい
●文化祭・学習発表会・学芸会

びじゅつ ぎじゅつ かていか つく しゃかい か りか べんきょう てんじ がっき えんそう
美術や技術・家庭科などで作ったものや、社会科、理科など勉強したレポートなどを展示したり、楽器の演奏や合唱、演劇等の発表をしたり、それらを観たり聞いたりして楽しむ会です。たいてい保護者も見学できます。

しゅうぎょうしき
●終業式

ふゆやす がつまつ がつはじ
●冬休み（12月末～1月初め）

やく しゅうかん やす
約2週間の休みです。

がっき がつ
3学期（おおよそ1～3月）

しぎょうしき
●始業式

そつぎょうしき
●卒業式

そつぎょう ひと そつぎょうしょうしょ わた いわ ぎょうじ
卒業を認められた人に卒業 証書を渡し、祝う行事です。

しゅうりょうしき
●修了式

ねんかん お ひ ぎょうじ おお ばあい ぜんがくねん あつ
1年間の終わりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

はるやす がつまつ がつはじ
●春休み（3月末～4月初め）

しゅうりょうしき お はるやす やす お うえ がくねん すず がつ あたら がくねん べんきょう
修了式が終わると、春休みになります。この休みが終わるとひとつ上の学年に進み、4月から新しい学年で勉強することになります。

09 中学卒業後の進路について TOP

ちゅうがくそつぎょうご しんろ おお わ しんがく しゅうしょく
中学校卒業後の進路は、大きく分けて、進学と就職の2つがあります。

しんがく ばあい こうこう こうとうせんもんがっこう せんしゅうがっこう かくしゅうがっこう いろいろ しゅるい がっこう ほ ごしや せんせい そう
進学の場合、高校や高等専門学校、専修学校・各種学校など色々な種類の学校があるので、保護者や先生とよく相
談してください。特に高校は勉強する時間や目的によってもたくさんの種類があるので、子どもに合った学校をしっ
かり探しましょう。また大阪府内の公立高校を受験する場合は、試験時間を長くできる、辞書が使えるなどの「配慮事
項」があるので、受験する場合は担任の先生と相談してください。

しゅうしょく ばあい ほうほう
就職の場合の方法は2つあります。

ちゅうがっこう とお こうきょうしょくぎょうあんていじょ しょうかい ほうほう きゅうじん かいしゃ
ひとつは中学校を通しての公共職業安定所（ハローワーク）の紹介による方法です。これは求人のある会社の
労働条件などを調べ、子ども、保護者、担任の先生で相談します。関心のある職場を実際に見学して、就職したい
会社を決め、入社試験を受けます。

にゅうしゃしけん かいしゃ ちが めんせつ おお
この入社試験は会社によっても違いますが、面接があるところが多いです。

ほうほう えん こ しゅうしょく ほうほう ち じん しゅうしょく めんどう いろいろ
もうひとつの方法は、縁故就職という方法です。これは知人が就職の面倒をみてくれるなど色々なケースがあり
ます。この場合も中学校を通して公共職業安定所（ハローワーク）に届けなければなりません。

しんがく ばあい しゅうしょく ばあい こ しょうらい かんが こ たんにん せんせい はな あ
進学する場合でも、就職する場合でも、子どもの将来についてよく考え、子どもと担任の先生とよく話し合っ
て決めましょう。

10高校ってどんなところ？ TOP

高校の学校生活

大阪の公立高校では、次のような決まりがあります。学校ごとに違うこともありますので、あなたの通う学校の先生に聞いてください。

◆学年

高校は学年制と単位制の2種類があります。学年制の高校では、学年ごとに勉強する科目が決められています（一部自分で選べる科目もあります）。欠席や欠課（その授業を休むこと）が多かったり、課題を提出しなかったり、試験の成績が目標に到達しないと次の学年へ進級することができません（「原級留置」といいます）。原級留置になると、もう1年間その学年の勉強をやりなおさなければなりません。単位制の学校には、学年はありません。原級留置の制度もありません。卒業するのに必要な科目数が決められていて、その科目に合格すれば卒業できます。

◆単位

各科目の1週間あたりの授業時間数を単位と呼びます。例えば、数学を1週間に4時間勉強するときは「4単位」あるといえます。ほとんどの学校では、1年間勉強してテスト等で一定の得点をとれば、その科目の修得が認められます。

◆始業時刻（学校が始まる時間）

学校は午前8時25分から8時30分ぐらいに始まります。

◆遅刻

始業時刻や各授業が始まるまでに学校に来ない場合は「遅刻」になります。遅刻するときや、病気などで休むときには、必ず学校に連絡をしてください。

◆学校にいる時間

高校は午前8時30分頃に始まり、午前中4時限（1時限は50分）の授業があります。昼ご飯（お弁当）の後、午後2～3時限の授業があります。1日だいたい6～7時限です。授業は教科ごとに先生が替わって教えます。

◆弁当（家から持ってくる昼食）

大阪府内の高校では、学校給食（学校で用意する昼食）がありません。学校へ弁当を持って行くか、パンを買って持っていくなどしましょう。食堂のある学校もあります。

◆清掃時間

高校では学校から帰る前に掃除をするための時間があります。生徒は、学校の教室、階段、廊下、トイレなどを清掃します。自分たちが勉強する場所を、自分たちできれいにしましょう。

◆部活動

放課後は、自分の得意な運動や文化的な活動を行うことができます。

◆服装

ほとんどの高校は学校ごとに、「制服」「標準服」という決められた服（夏用・冬用）があり、それを着て登校します。

「体育」の時間は、運動しやすい「体操服」に着替えます。体育館では、上靴とは別に体育館だけで使う靴が必要な学校があります。体操服等も、多くの高校で、学校ごとに決められています。

夏の「プール（水泳）」の時には、水着と水泳帽子が必要で自分で用意します。自分のものには、自分の名前を書いておきます。詳しくは学校で聞いてください。

◆学級について

学級（クラス）は40人以内で、担任の先生の他に副担任の先生がいることがあります。授業は教科ごとに担当する先生が違います。

※各教科の学習や、一日の始まりと終わりに行う学級（クラス）活動、色々な学校の行事は、学級ごとにこなすことが多いので、わからないことや困ったことがあれば、すぐに担任の先生に相談してください。

◆学習内容

高校では国語（文学国語、言語文化など）、地理歴史（地理総合、歴史総合など）公民（公共など）、数学、理科（物理、生物、化学など）、保健体育、芸術（美術、書道、音楽など）、外国語、家庭、情報などを勉強します。専門学科のある学校では、それぞれの専門的な勉強もします。

※他に、特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事）、総合的な探究の時間があります。

◆学習道具

学習に使うものは教科書を含め全て有料です。

芸術など、いくつかの科目では、自分だけが使う道具が必要なことがあります。

◆通訳派遣について

まだ日本語が難しい保護者や生徒たちが、学校や担任の先生と話ができるように、通訳者に来てもらうことも可能です。詳しくは学校の先生に聞いてください。

◆健康診断

<健康診断について>

日本の学校では、必要に応じて健康診断を行っています。健康診断はいろいろな種類があります。

- ・保健調査（今までにかかった病気や、今健康かどうかを調べます）
- ・身長（背の高さ）・体重（からだの重さ）・内科検診（お腹の中の様子）、眼科検診（目が健康かどうか）、耳鼻科検診（耳と鼻が健康かどうか）、歯科検診（歯が健康かどうか）、視力検査（どれくらい見えるか）、聴力検査（音が聞こえるか）
- ・結核検診（エックス線撮影） 高校1年生が全員受けます。
- ・心臓検診（心電図検査） 高校1年生が全員受けます。
- ・尿検査（おしっこの検査）

※他にも、水泳の授業の前、マラソンや登山などをする前、修学旅行前に検査を受けることがあります。

◆定期テスト

高校では、年間に5～6回の定期的なテスト（中間テスト・期末テスト）があります。教科によっては、学期に1回だけのもの、2回のもの、テストは全くしないで、日頃の授業への取り組みなどから判断する教科もあります。定期テストの期間は3～5日です。定期テストの他に、宿題テストや実力テストを行う学校もあります。詳しくは学校の先生に聞いてください。

◆通知表

生徒の学校での学習の成果（成績）や学校生活の様々な活動の様子が書いてあります。終業式の日にもらい、保護者に見せてから、次の学期始め（始業式の日）に担任に渡します。

高校の1年

学校は毎年4月に始まり、3月に終わります。学年制と単位制の2種類があり、学年制の高校では1年が3つの学期、または、前期、後期の2つに分かれています。学校では色々な行事を行います。その中には、保護者にも学校に来てもらうものや、特別にお金がかかるものもあります。詳しいことは学校からお知らせがあります。学校行事の名前や、内容などは学校、学年によって違いますが、代表的なものを3学期制にあてはめて紹介します。

1学期（おおよそ4～7月）

●始業式

学期の始まりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

●入学式

1年生に入学する生徒たちをお祝いする行事です。保護者も出席します。

●健康診断

身体が健康かどうかをお医者さんが診ます。

●身体測定

背の高さやからだの重さなどを測ります。

●校外学習（遠足）

教室では勉強できないことを学校の外に出て、自然や歴史・文化に触れながら勉強します。

●三者懇談（個人懇談会）

担任と保護者、生徒が3人以上で、学校や家庭での生活について話し合います。

●水泳授業（プール）

多くの高校にはプールがあり、6月後半から7月にかけて泳ぐ練習をする授業があります。

●終業式

学期の終わりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

●夏休み（7月末～8月末）

約30日～40日間の長い休みです。

休みの間に水泳や部活動（クラブ）のために学校に行く日もあります。

2学期（おおよそ9～12月）

●始業式

●体育大会

短距離走や長距離走、リレー、ダンスなどをしたり、学級（クラス）の友だちの応援をしたりしながら、運動を楽しむ行事です。学校によっては保護者や家族も参加できるものもあります。

●文化祭・学習発表会

クラス単位で楽器の演奏や合唱、演劇等の発表をしたり、それらを観たり聞いたりして楽しむ会です。

たいてい保護者も見学できます。

●終業式

●冬休み（12月末～1月初め）

約2週間の休みです。

がっ き がつ
3学期 (おおよそ1~3月)

し ぎようしき
● **始業式**

しゅうがくりょこう
● **修学旅行**

こうりつこうこう ねんせい がくねんぜんいん と りょこう
公立高校では2年生になると、学年全員で泊まりの旅行をします。

がっ き がっ き い おお
2学期か3学期に行くことが多いです。

そつぎようしき
● **卒業式**

そつぎよう みと ひと ひつよう たん い しゅうとく ひと そつぎようしょうしょ わた いわ ぎようじ
卒業を認められた人 (必要な単位を修得した人) に卒業 証書を渡し、祝う行事です。

しゅうりようしき
● **修了式**

ねんかん お ひ ぎようじ おお ば あい ぜんがくねん あつ
1年間の終わりの日にある行事です。多くの場合、全学年が集まります。

はるやす がつまつ がつはじ
● **春休み (3月末~4月初め)**

しゅうりようしき お はるやす
修了式が終わると、春休みになります。

11 高校入試制度 TOP

●日本では、中学校を卒業すると90%以上の人が高等学校に進学しています。
高校や高等専門学校を受験したい人は、計画を立てて準備しましょう。

・ 早めに志望校（行きたい学校）を決めておく

→ 入学試験の半年前くらいまでに行きたい学校を決めておいた方がいいです。
色々な情報は、「多言語進路ガイダンス」に行くといわれます。個別相談も受けることができます。

・ 学校見学に行く

→ 行きたい学校を決める前に見学に行きましょう。多くの高校には、体験入学といって、その学校に行くと教室や体育館などを見学したり、授業を体験したりすることができます。またその時に通訳の人と一緒に歩くことができる場合もありますので、担任の先生に相談してください。

・ 勉強をがんばる

→ 受験の科目はたくさんあります。よく調べて計画的に勉強しましょう。勉強の仕方がわからないときは、中学校の先生に相談してみてください。

・ 中学校の先生や保護者とよく相談する

→ 受験する学校は自分で決めますが、中学校の先生や保護者に相談すると、色々アドバイスがもらえます。また、公立高校を受験するときの「配慮事項」などは、中学校から公立高校などへ連絡しなければなりません。

・ 行きたい学校に願書を出す

→ 中学校の先生と相談して、願書（入学志願書）等を書き、決められた期間に行きたい学校へ提出します。

・ 受験する

受験日に願書を提出した学校へ行き、入試（入学者選抜）を受けます。

12高校卒業後 TOP

高校卒業後の進路は、大きく分けて、就職と進学があります。

進学の場合は、いろいろな入試があります。

進学の場合、4年制大学や、2年制の短期大学、専門学校などいろいろな種類があります。
また、大学や短期大学入学試験の形態も多様です。

国公立大学では、

- 1月の大学入学共通テスト※を志願者は全員受けます。(一部の私学希望者も受験します。)
- ※私立大学の入試に活用できる場合もあります。自分が受験したい私立大学で活用できるか担任の先生や進路の先生に相談してください。
- 受験する科目等は、志望する大学と学部等で異なっています。
- 詳しくは、次の(独立行政法人)大学入試センターのホームページをご覧ください。

<https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/index.html>

○次に、各大学の二次試験の前期日程・後期日程があり、一部の大学ではその他の日程もあります。
これに合格すると、大学・短大へ進学できます。

私立大学では、

- 指定校推薦入試
各高校に大学・短大が人数と受験資格を指定するもので、10月はじめ頃から始まる入試です。合格した場合は辞退ができません。
- 一般推薦入試
10月下旬から始まる入試で、大学・短大が先に入学者を決定するものです。学校によっては、辞退できない学校もあるので、よく調べましょう。
- 一般入試
1月以降に行われる一般の入試です。併願ができるので、複数受けることも可能です。合格した場合に辞退は可能です。
- AO入試
筆記試験によらず、高校の成績、面接や討論の結果、自己推薦書、小論文などを総合的に考えて入学者を選抜するものです。

上記以外にも様々な入試形態があり、中には帰国者枠や外国人枠などの別枠で受験できる場合もありますので、関心のある大学について、担任の先生や進路の先生と十分に相談し、よく調べましょう。

しゅうしょく ば あい ほうほう
就職の場合の方法は2つあります。

(1) 通っている高校等を通して就職する方法

一般的には、まず高校に送られてくる求人票（会社から送られてくる書類で、こんな仕事に就く人を募集していますというもので、仕事の内容や給料などの条件が書かれています。）をもとに応募する方法です。

この方法では、

1 求人のある会社の労働条件などを調べる。

求人票などをしっかり読むことが大事です。

2 保護者や担任の先生に相談します。

仕事の内容が自分に向いているか、仕事の場所が遠くないか、仕事の特性や自分の家の事情などから長く続けられるかどうか、十分に相談しましょう。

3 関心のある職場を実際に見学してみましょう。

求人票を読んだときの会社のイメージより、実際に見学した方がよくわかります。

4 就職したい会社を決めます。

見たり、調べたり、相談した結果、就職したい会社を決めます。

その後、担任の先生や就職・進路の先生に希望する会社を報告すると、学校が手続きをしてくれます。

5 入社試験を受けます。

入社試験の日時や場所を先生から聞いて、入社試験を受けます。これに合格すると、就職が決定！

この入社試験は会社によっても違いますが、面接があるところが多いです。

【就職試験を受けるときに気をつけること】

- 試験会場の場所を事前に地図など準備して調べておく、全く知らない場所では事前に下見してもよいでしょう。
- 試験時間の30分前に着くよう、早めに家を出ましょう。
- 必要な交通費も調べて、少し多めにお金をもって行きましょう。
- 服装等のみだしなみを整えること。制服がある場合は、必ず制服を着て行きましょう。
- 言葉づかいに気をつけましょう。会社の人は、ほとんどが年上の人です。敬語を使うことを忘れないようにしましょう。
- できるだけ事前に学校の先生に手伝ってもらい、面接の練習をしてから試験を受けましょう。

※ 学校によっては、送られてくる求人票が多い学校と少ない学校があります。

学校に送られる求人票に、希望する会社がない場合は、住んでいる地域にあるハローワーク（職業安定所）に行くと、一般の人と同様に求人票を見ることができます。

(2) 知人などの縁故によって就職する方法

もうひとつの方法は、縁故就職という方法です。

これは知人が就職の面倒をみってくれるなど色々なケースがあります。この場合、人任せにするのではなく、仕事の内容と勤務条件について、しっかり話を聞いて、理解することが大切です。

また、仕事を紹介してくれる人が、家族などがよく知っている人（確かな人）であることも大切です。

進学する場合でも、就職する場合でも、子どもや担任の先生とよく話し合っ決めてみましょう。

13学校で使ういろいろなもの・道具を紹介 TOP

しゅうじどうぐ 習字道具	こくご しょうどう もうひつ じかん つか ふで つか じ か れんしゅう 国語や書道（毛筆）の時間に使います。筆を使って字を書く練習をします。
じょうぎ 定規 (cm)	さんすう すうがく じかん つか なが はか 算数や数学の時間に使います。長さを測ります。
さんかくじょうぎ 三角定規	さんすう すうがく じかん つか 算数や数学の時間に使います。
コンパス	さんすう すうがく びじゆつ えん か つか 算数や数学、美術などで円を描くときに使います。
ぶんどき 分度器	さんすう すうがく じかん つか かくど はか 算数や数学の時間に使います。角度を測ります。
ハーモニカ	おも しょうがっこうていがくねん おんがく じかん つか 主に小学校低学年の音楽の時間に使います。
カステネット	おも しょうがっこうていがくねん おんがく じかん つか 主に小学校低学年の音楽の時間に使います。
けんばん 鍵盤ハーモニカ	おも しょうがっこうていがくねん おんがく じかん つか 主に小学校低学年の音楽の時間に使います。
リコーダー	おんがく じかん つか 音楽の時間に使います。
どうぐばこ お道具箱	しょうがっこう とき い こじんよう はこ 小学校の時に、はさみやのりなどを入れておく個人用の箱の事です。
はさみ	ず がこうさく じかん つか 図画工作の時間などに使います。
のり	ず がこうさく じかん つか 図画工作の時間などに使います。
セロハンテープ	ず がこうさく じかん つか 図画工作の時間などに使います。
クレパス	ず がこうさく じかん つか 図画工作の時間などに使います。
いろえんぴつ 色鉛筆	ず がこうさく じかん つか 図画工作の時間などに使います。
すいさいが どうぐ 水彩画の道具セット	ず がこうさく じかん つか 図画工作の時間などに使います。
ちょうこくとう 彫刻刀	ず がこうさく びじゆつ じかん つか 図画工作・美術の時間などに使います。
さいほうどうぐ 裁縫道具	かていか じかん つか はり いと さいほうよう 家庭科の時間に使います。針や糸、裁縫用はさみなどです。
なわとび	おも しょうがっこう たいいく じかん つか 主に小学校の体育の時間に使います。
せいふく ひょうじゆんふく 制服（標準服） なつよう ふゆよう 夏用・冬用	がっこう き ふく せいふく ひょうじゆんふく がっこう がっこう 学校で決められた服の事です。制服（標準服）は、ある学校とない学校があります。
うわば 上履き（上靴）	がっこう なか くつ いちしゅうかん いっかいていど も かえ あら くつ い うわば 学校の中だけではなく靴です。一週間に一回程度持って帰って洗うので、靴を入れる上履き い ふくろ ひつよう 入れ（袋）も必要です。

<p>かばん・補助かばん</p>	<p>しょうがっこう <small>しょうがっこう</small> <small>かたち</small> <small>つか</small> <small>がっこう</small> <small>しょうがっこう</small>では、ランドセルという形のかばんを使う学校があります。</p> <p>ちゅうがっこう <small>こうこう</small> <small>つうがく</small> <small>つか</small> <small>き</small> <small>ちゅうがっこう</small>や高校では通学に使うかばんが決まっていることもあります。</p>
<p>体操服 夏用・冬用</p>	<p>たいいく <small>じゆぎょう</small> <small>き</small> <small>が</small> <small>うんどう</small> <small>ふく</small> <small>がっこう</small> <small>かたち</small> <small>き</small> <small>おお</small> <small>たいいく</small>の授業のときに着替える運動しやすい服です。学校で形が決まっていることが多いです。</p>
<p>体育館シューズ</p>	<p>たいいくかん <small>はい</small> <small>は</small> <small>か</small> <small>くつ</small> <small>たいいくかん</small>に入るときに履き替える靴です。</p>
<p>水着・水泳帽</p>	<p>みずぎ <small>すいえいぼう</small> <small>すいえい</small> <small>じゆぎょう</small> <small>とき</small> <small>き</small> <small>が</small> <small>みずぎ</small> <small>すいえいぼう</small> <small>かたち</small> <small>がっこう</small> <small>き</small> 毎年夏には水泳の授業があり、その時に着替えます。水着と水泳帽の形は学校で決まっています。</p>
<p>水泳バッグ</p>	<p>ぬ <small>みずぎ</small> <small>い</small> <small>せい</small> <small>て</small> <small>さ</small> <small>ぶくろ</small> 濡れた水着やタオルを入れるためのビニール製の手提げ袋です。</p>
<p>水筒</p>	<p>がっこう <small>すいぶんほきゆう</small> <small>の</small> <small>すいとう</small> <small>なか</small> <small>ちや</small> <small>い</small> 学校で水分補給をするために、飲みものをもっていくことができます。水筒の中には、お茶を入れますが、それ以外の飲みものを入れることができるかは、学校で聞いてください。</p>
<p>箸</p>	<p>きゅうしょく <small>べんどう</small> <small>た</small> <small>つか</small> 給食やお弁当を食べるときに使います。</p>
<p>エプロン・帽子・マスク</p>	<p>しょうがっこう <small>きゅうしょく</small> <small>かていか</small> <small>じゆぎょう</small> <small>つか</small> <small>きゅうしょく</small> <small>こうたい</small> <small>ぶん</small> <small>くぼ</small> <small>とき</small> <small>しょうがっこう</small>での給食のときや家庭科の授業で使います。給食では交替で、みんなの分を配る時に使います。また、<small>ちゅうがっこう</small>・<small>こうこう</small>の家庭科で料理をする時に使います。</p>
<p>歯ブラシ・コップ</p>	<p>きゅうしょく <small>ひる</small> <small>はん</small> <small>た</small> <small>あと</small> <small>いっしょ</small> <small>は</small> <small>みが</small> <small>つか</small> 給食など昼ご飯を食べた後、みんなで一緒に歯を磨くときに使います。</p> <p>おも <small>しょうがっこう</small> <small>ひつよう</small> 主に<small>しょうがっこう</small>で必要です。</p>

とく しょうがっこう ちゅうがっこう こうとうがっこう こ にほんご にゅうがく へんにゅうがく
特に小学校・中学校・高等学校では、子どもがまだ日本語があまりわからないとき（入学・編入学してすぐ

ころ つうやく ひと いっしょ じゅぎょう さんか がっこう
の頃）、通訳の人が一緒に授業に参加することができる学校もあります。

また、これとは別に懇談会など保護者が学校へ行く時には、通訳が同席することができる場合もあります。

ようちえん じゅぎょう つうやく ひと さんか むずか こんだんかい ほごしゃ がっこう い とき どうせき
幼稚園では、授業に通訳の人が参加するのは難しいですが、懇談会など保護者が学校に行く時には、同席できることがあります。

これらは、住んでいる地域によって、通訳を自分で呼ぶのかどこまでできるかが違います。授業への通訳者の参加を希望する時は、入学（編入学）の手続きをするときに、それ以外の通訳を希望するときは、必要なときに、学校（担任の先生）に相談してください。

ちいき つうやくせいど 地域の通訳制度

す ちいき こくさいこうりゅうきょうかい つうやく はけん おこな
住んでいる地域によっては、国際交流協会などで、通訳の派遣を行っているところがあります。また、さまざまなNGOやNPOで通訳を派遣しているところがあります。

これらは、その団体によって対応できる内容が異なりますが、病院に行く時や、市役所等での手続きに行く時などにも、通訳が同行することができる場合もあります。このほか、役所への手続き上必要になる書類の翻訳も依頼できるところがあります。詳しくは、相談窓口一覧を見てください。

かくしゅがっこう
各種学校(2023.2.15 現在)

校名	住所	電話
大阪中華学校	〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-8-13	06-6649-6849
大阪朝鮮中高級学校	〒578-0984 東大阪市菱江 2-18-26	072-963-3481
北大阪朝鮮初・中級学校	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-5-19	06-6328-6794
南大阪朝鮮初級学校	〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋 1-11-33	06-6685-6505
東大阪朝鮮初級学校	〒577-0845 東大阪市寺前町 2-4-22	06-6728-4202
大阪朝鮮第四初級学校	〒544-0034 大阪市生野区桃谷 4-9-22	06-6712-8833
生野朝鮮初級学校	〒544-0012 大阪市生野区巽西 3-14-16	06-6758-0848
城北朝鮮初級学校	〒535-0022 大阪市旭区新森 6-8-4	06-6951-3221
大阪福島朝鮮初級学校	〒555-0033 大阪市西淀川区姫島 6-2-3	06-6473-8487
関西学院大阪インターナショナルスクール https://www.senri.ed.jp/	〒562-0032 箕面市小野原西 4-4-16	072-727-5050
コリア国際学園 中等部・高等部 https://kiskorea.ed.jp	〒567-0057 茨木市豊川 2-13-35	072-643-4200
大阪YMCA インターナショナルスクール https://www.oyis.org	〒531-0071 大阪市北区中津 6-7-34	06-6345-1661

学校教育法第1条校

校名	住所	電話
大阪金剛インターナショナル小中高等学校 https://www.kongogakuen.ed.jp	〒559-0034 大阪市住之江区南港北 2 丁目 6-10	06-4703-1780
白頭学院 建国幼・小・中・高等学校 https://keonguk.ac.jp	〒558-0032 大阪市住吉区遠里小野 2-3-13	06-6691-1231

しょうがっこう ちゅうがっこう にほんご べんきょう こ たいしょう にほんごきょうしつ ひら
小学校や中学校では、日本語を勉強したい子どもたちを対象にした日本語教室を開いているところがありま
す。いろいろ きょうしつ しょうがっこう ちゅうがっこう なか おお こくご しゃかい ていど にほんご
色々な教室がありますが、小学校や中学校の中にあるものが多く、国語や社会などある程度の日本語がわか
らないと難しい授業の時に、同級生とは別の教室（あるいは、別の学校）にその時間だけ行って、日本語の
べんきょう
勉強をします。

にほんごきょうしつ こくご じゅぎょう べつ きょうしつ ほか せんせい
また、日本語教室がないところでも、国語などの授業は別の教室で他の先生が、ゆっくりわかりやすいように
おし
教えてくれたり、放課後や休み時間に教えてくれたりすることもあります。

がっこう にほんごきょうしつ ちいき がっこう べんきょう ないよう かいすう ちが しょうがっこう せんせい そうだん
ただ、学校の日本語教室は、地域や学校によって勉強する内容や回数などが違うので、まず学校の先生に相談
してみてください。

こうこう にほんごきょうしつ きほんてき
高校には日本語教室は基本的にありません。

ちいき にほんごきょうしつ 地域の日本語教室

おおさかふない かくちいき こくさいこうりゅうきょうかい しゅきい にほんごきょうしつ にほんご べんきょう
大阪府内の各地域では、国際交流協会などの主催により日本語教室などで日本語の勉強ができるところがあ
ります。

しきじきょうしつ くわ
識字教室については、詳しくはこちらをみてください。



おおさか しきじ にほんごきょうしつ やかんちゅうがく がつきゅうじょうほう
大阪の識字・日本語教室・夜間中学などの学級情報

<https://call-jsl.jp/>

せいかついっばん
生活一般

名称	所在地	電話番号	対応言語	日時
大阪府外国人情報コーナー ※「大阪生活必携」 大阪府内で生活するための様々な情報が記載されたハンドブック 発行： (公財)大阪府国際交流財団	大阪市中央区本町橋 2-5 マイドームおおさか5階 (公財)大阪府国際交流財団 (OFIX)内	06-6941-2297	英語、中国語、韓国・朝鮮語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、日本語	月・金曜日（祝日除く） 9:00～20:00 火・水・木曜日（祝日除く） 9:00～17:30 第2、第4日曜日 13:00～17:00
大阪国際交流センター インフォメーションセンター	大阪市天王寺区上本町 8-2-6 (公財)大阪国際交流センター内	06-6773-6533	英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、ベトナム語、日本語	月～金曜日 9:00～19:00 土・日曜日、祝日 9:00～17:30 (年末年始は除く)

しゅうろうもんだい ざいりゅうしかくもんだい
就労問題・在留資格問題など

名称	所在地	電話番号	対応言語	日時
外国人労働者相談コーナー (大阪労働局)	大阪市中央区大手前 4-1-67 大阪合同庁舎第2号館9階 大阪労働局労働基準部監督課内	06-6949-6490	就労問題など ・英語 ・中国語 ・ポルトガル語 ・ベトナム語	英語:月・水・金曜日 中国語:火・水曜日 ポルトガル語:水・木曜日 ベトナム語:第一木・金曜日 9:30～17:00
大阪出入国在留管理庁 (外国人在留総合インフォメーションセンター)	大阪市住之江区南港北 1丁目 29-53	0570-013904	在留資格問題など ・英語・中国語・ベトナム語 ・スペイン語・フィリピン語・ネパール語・韓国語・ポルトガル語 等	・平日 8:30～17:15
大阪外国人雇用サービスセンター 公共職業安定所（ハローワーク）	大阪市北区角田町 8-47 阪急 グランドビル 16階	06-7709-9465	職業相談 英語、中国語、 ポルトガル語、スペイン語	開庁時間 10:00～18:00 (土・日・祝日・年末年始を除く) 通訳の時間帯はお問合せください
大阪法務局内 外国人のための人権相談所	大阪市中央区谷町 2-1-17 大阪第2法務合同庁舎	0570-090911	中国語、英語、韓国語、フィリピン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、スペイン語、インドネシア語、タイ語、日本語	9:00～17:00 平日（年末年始を除く）

名 称	電話番号	事業内容	対応言語	日 時
外国人のための医療情報ガイド おおさかメディカルネット	大阪府健康医療部保健 医療室保健医療企画課 06-6941-0351	大阪府内の医療機関 情報が記載	英語、中国語 韓国・朝鮮語、スペイン 語、ポルトガル語、ベト ナム語、フィリピン語、 日本語	https://www.mfis.pref.osaka.jp/omfo/

名 称	所在地	連絡先	備 考
大阪府在日外国人教育研究協議会		FAX:050-3383-2683 Mail:fugaikyo@nifty.com	
大阪市外国人教育研究協議会			
大阪府立学校在日外国人教育 研究会		TEL:072-299-9000 FAX:072-293-2859 Mail:furitsugaikyo@nifty.com	
大阪府教育庁	大阪市中央区大手前 2	06-6941-0351 (府庁) 進路・就学全般に関すること 高等学校課生徒指導グループ (内 線 3432) 転入学・編入学、入試等 高等学校課学事グループ (内線 3420)	

○子ども家庭センター・児童相談所

児童相談所は児童福祉法の規定により、児童福祉の第一線の専門機関として、都道府県および政令指定都市に

設置され、大阪府においては、平成6年に組織改編・名称変更し子どもと家庭に関するさまざまな相談に応じています。

■児童相談

児童福祉法に定める児童相談所機能を有し、児童福祉法上の行政機能と、児童に関する診断・治療機能ならび

に児童の一時保護機能をもちます。

・児童に関するあらゆる問題について、家庭やその他からの相談に応じる。

・児童及び家庭について、児童福祉司による調査にもとづく社会診断、心理職による心理診断、医師による

医学診断、その他の診断をもとに総合診断を行い、問題の改善についての指導を行う。

・必要に応じて、児童を児童福祉施設に入所または通所させ、あるいは里親等に委託を行い、その健全な育成をはかる。

・児童の一時保護が必要と認められる場合は、一時保護を行う。

・幼児の知的発達面での早期発見、早期援助のための知的発達相談を行う。

名称	所在地・電話番号	備考
子ども悩み相談（子ども専用） フリーダイヤル	0120-7285-25	年中無休
大阪府中央 子ども家庭センター	〒572-0838 寝屋川市八坂町28-5 072-828-0161	守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市
大阪府池田 子ども家庭センター	〒563-0041 池田市満寿美町9-17 072-751-2858	豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町
大阪府吹田 子ども家庭センター	〒564-0072 吹田市出口町19-3 06-6389-3526	吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町
大阪府東大阪 子ども家庭センター	〒577-0809 東大阪市永和1-7-4 06-6721-1966	東大阪市、八尾市、柏原市

大阪府富田林 子ども家庭センター	〒584-0031 富田林市寿町 2-6-1 南河内府民センタービル内 0721-25-1131	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
大阪府岸和田 子ども家庭センター	〒596-0043 岸和田市宮前町 7-30 072-445-3977	泉大津市、和泉市、高石市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町
大阪市中央こども相談センター	〒540-0003 大阪市中央区森之宮中央 1-17-5 06-4301-3100	此花区、中央区、西区、港区、大正区、天王寺区、浪速区、東成区、生野区、城東区、鶴見区、住之江区、西成区
大阪市北部こども相談センター	〒533-0032 大阪市東淀川区淡路 3-13-36 06-6195-4114	北区、都島区、福島区、西淀川区、淀川区、東淀川区、旭区
大阪市南部こども相談センター	〒547-0026 大阪市平野区喜連西 6-2-55 06-6718-5050	阿倍野区、住吉区、東住吉区、平野区
堺市子ども相談所	〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町 4-3-1 072-245-9197	堺市

18学校で子どもたちに専門的なことを教える制度（大阪府人材バンク） [TOP](#)

大阪府では、「学校支援人材バンク」という制度があります。

これは様々な分野で活躍する人が、学校で子どもたちにその専門的なことを教えたりするための登録制度です。

この制度により、府立高校では現在多くの方々が活躍しておられます。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/jinzai/>

19仕事を紹介してくれるところ（ハローワーク一覧） [TOP](#)

仕事をしたいという人に仕事を紹介するところです。大阪府には、以下の職業安定所があります。

名称	電話番号	郵便番号	住所
ハローワーク大阪東	06-6942-4771	540-0011	大阪市 中央区 農人橋 2-1-36 ピップビル1F～3F
ハローワーク梅田	06-6344-8609	530-0001	大阪市 北区 梅田 1-2-2 大阪駅前第2ビル16階
ハローワーク大阪西	06-6582-5271	552-0011	大阪市 港区 南市岡 1-2-34
ハローワーク阿倍野	06-4399-6007	545-0004	大阪市 阿倍野区 文の里 1-4-2
ハローワーク阿倍野 ルシアス庁舎	06-6631-1675	545-0052	大阪市 阿倍野区 阿倍野筋 1-5-1 あべのルシアスビル8階
ハローワーク淀川	06-6302-4771	532-0024	大阪市 淀川区 十三本町 3-4-11
ハローワーク布施	06-6782-4221	577-0056	東大阪市 長堂 1-8-37 イオン布施駅前店4階
ハローワーク堺	072-238-8301	590-0078	堺市 堺区 南瓦町 2-29 堺地方合同庁舎1～3階
ハローワーク堺 堺東駅前庁舎	072-340-0944	590-0028	堺市 堺区 三国ヶ丘 御幸通 59 高島屋堺店9階
ハローワーク岸和田	072-431-5541	596-0826	岸和田市 作才町 1264
ハローワーク池田	072-751-2595	563-0058	池田市 栄本町 12-9
ハローワーク泉大津	0725-32-5181	595-0025	泉大津市 旭町 22-45 テクスピア大阪2F
ハローワーク藤井寺	072-955-2570	583-0027	藤井寺市 岡 2-10-18 DH 藤井寺駅前ビル3F
ハローワーク枚方	072-841-3363	573-0031	枚方市 岡本町 7-1 ビオルネ・イオン枚方店6階
ハローワーク泉佐野	072-463-0565	598-0007	泉佐野市 上町 2-1-20
ハローワーク茨木	072-623-2551	567-0885	茨木市 東中条町 1-12
ハローワーク河内長野	0721-53-3081	586-0025	河内長野市 昭栄町 7-2
ハローワーク門真	06-6906-6831	571-0045	門真市 殿島町 6-4 守口門真商工会館2階
大阪外国人雇用サービスセンター	06-7709-9465	530-0017	大阪市 北区 角田町 8-47 阪急グランドビル16階

20仕事をするための専門的な知識や技術を教える学校（働くための技術を身につける） TOP

普通科などの高校で勉強する以外に、専門的な知識や技能を身につけるための学校があります。

◆ 高等職業技術専門学校

半年～2年間の短い期間で色々な職業訓練を行い、専門的な知識や技能を身につけること

ができる施設です。これは職業安定所（ハローワーク）を通して申し込みます。

大阪府内には5校（うち、大阪障害者職業能力開発校1校）あります

大阪府立北大阪高等職業技術専門学校 072-808-2151

大阪府立東大阪高等職業技術専門学校 072-964-8836

大阪府立南大阪高等職業技術専門学校 0725-53-3005

大阪府立夕陽丘高等職業技術専門学校 06-6776-9900

大阪障害者職業能力開発校 072-296-8311

※詳しくは、担任の先生か進路の担当の先生に相談してください。

◆ 高等専門学校

より詳しく専門の勉強をして、職業に必要な能力を育成することを目的にした学校です。工業に関する

専門的な勉強をします。5年間で卒業した後は、専門技術者として活躍できるほか、大学への編入学もできます。

大阪府には「大阪公立大学工業高等専門学校」があり、5年制です。

◆^{かくしゅがっこう}各種学校・^{せんしゅうがっこう}専修学校

○^{かくしゅがっこう}各種学校

^{みじか}短い^{きかん}期間に、^{しゃかい}社会で^{かつやく}活躍するために^{ひつよう}必要な^{ぎじゆつ}技術や^{しかく}資格を^{しゅうとく}修得できる^{きょういく}教育機関で、^{ねんてい}たいいてい1年程度^{べんきょう}勉強します。

^{ぐたいてき}具体的には：^{びよう}美容・^{りようかんれんこう}理容関連校、^{ちょうりしがっこう}調理師学校など

○^{せんしゅうがっこう}専修学校

^{ちゅうがっこう}中学校を^{そつぎょう}卒業した人が^{ひと}入学し、^{にゅうがく}専門的な^{せんもんてき}授業以外に^{じゅぎょう}高校の^{じゅぎょう}授業を受ける^{こうとうかてい}高等課程を^{せっち}設置している^{がっこう}学校もあります。^{ぎのうれんけいせいど}技能連携制度を採用し、^{さいよう}高校と^{れんけい}連携して^{こうこうそつぎょう}高校卒業の^{しかく}資格が^え得られる^{がっこう}学校もあります。

^{ぐたいてき}具体的には：^{かんれんせんしゅうがっこう}コンピュータ関連専修学校、^{りよう}美容・^{びようかんれんせんしゅうがっこう}美容関連専修学校、^{かせいせんしゅうがっこう}家政専修学校、^{がいこくごかんれんせんしゅう}外国語関連専修

^{がっこう}学校、^{じどうしゃせいびかんれんせんしゅうがっこう}自動車整備関連専修学校など

Q1. 子どもがもうすぐ中学校を卒業します。日本では、どんな進路がありますか？

A. 日本の中学校を卒業した後は、大きく分けて進学と就職があります。進学は高校、高等専門学校、各種学校・高等専修学校、高等職業技術専門学校などがあり、担任の先生と相談して決めます。また、就職の場合も中学校を通じて就職活動をするので、先生と相談して決めます。くわしくは「中学校卒業後の進路について」のページをみてください。

Q2. いつ自分の国に帰るかわかりません。日本で進学しても、自分の国でその学歴等が通用しますか？

A. 国によって教育制度が異なりますが、認められることも多いようです。勉強する年数が足りなかったり、勉強した科目が少なかったりすると、足りない分を帰国した後も勉強する必要があります。両方の国の教育制度をよく調べてみましょう。

Q3. 子どもを高校に行かせたいのですが、進学するためのお金が心配です。

A. 日本では、奨学金制度というのがあって、高校や大学、専修学校等で勉強するときに必要なお金を貸してくれます。卒業して働くようになってから、借りたお金を返すことになります。貸してくれる金額や返す方法は、それぞれの奨学金制度で異なります。大阪では、高校の場合に大阪府育英会の奨学金があります。詳しくは下のホームページをみてください。
<https://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/syogaku201904/index.html>

Q4. 学校には、どんな服装で通うのですか。

A. たいいていの場合、中学校と高校では制服を着て学校に行きます。制服は、それぞれの学校が決めた服のことです。寒い時期に着る冬用と、暑い時期に着る夏用があります。小学校の場合は、制服がない学校が多く、その場合には動きやすい服で学校に行きます。

Q5. 必ずお弁当を作って、学校に持って行かせるのですか。

A. 小学校では学校給食（学校で用意する昼食）があって、学校で友だちと同じ昼食が食べられます。中学校では、学校給食があるかどうかは中学校によってちがいます。中学生全員が給食の対象になる場合と、申し込んだ人が対象になる場合があります。学校給食がない場合には、学校へ弁当を持って行ってください。弁当を持っていけない場合は、パンを買って持って行くなどしましょう。学校でパンを売っている学校もあります。ほとんどの高校ではお弁当が必要です。校内でパンや牛乳を売っている学校もあります。高校の場合は、学校の中に食堂があって、お金を払って食事ができる学校もあります。

日本の学校では、登校（学校に来ること）してから授業が終わって下校（家に帰ること）するまで、学校の外に出られないのが規則になっている学校が多いので、弁当を持って行くか、お金を持って行ってパンなどを買うか。高校の場合は食堂を利用するかになります。

Q6. 学校にあるPTAとは何ですか。

A. 英語の「Parent-Teacher Association」の略した呼び名で、保護者と先生の会（集まり）のことです。この会では、学校や家庭での子どもの教育について話し合ったり、学校の行事に保護者がPTAとして参加

したりするなど、お互いに協力し合っ^{たが きょうりよく あ}て子どもを育てることを目標^{こ そだ もくひょう}としています。

最近^{さいきん}では、子どもが通学時間^{こ つうがくじかん}に犯罪^{はんざい}にまきこまれることが多くなっていることから、PTAが見回り^{みまわ}をしている学校^{がっこう}もあります。

22学校^{がっこう}に行きたがらないのですが？（不登校^{ふとうこう}になった） [TOP](#)

Q. 子どもが最近^{さいきん}学校^{がっこう}へ行っていないようです（行きたがりません）。どうしたらいいのでしょうか。

A. カウンセラーの回答^{かいとう}から

帰国渡日^{きこくとにち}の児童・生徒^{じどう せいと}は、入学^{にゅうがく}（編入学^{へんにゅうがく}）の当初^{とうしょ}は日本語^{にほんご}がわからなかったり、日本文化^{にほんぶんか}や教育制度^{きょういくせいど}の違い^{ちが}から、友達^{とも}たち（クラスメート）とうまく関係^{かんけい}を作れない、授業^{じゅぎょう}がわからない、日本式^{にほんしき}の給食^{きゅうしょく}になじめないなどの状況^{じょうきょう}になることがあります。その結果^{けっか}、学校^{がっこう}に行けなくなることがあります（不登校^{ふとうこう}）。

学校^{がっこう}に行けるようになるためには、原因^{げんいん}を考え^{かんが}、取り除くことが大切です。原因^{げんいん}には、いろいろ考えられますが、学校^{がっこう}での生活^{せいかつ}をもっとよく知^しっている担任^{たんいん}の先生^{せんせい}に相談^{そうだん}してみてください。保護者^{ほごしや}と学校^{がっこう}（先生^{せんせい}）が連携^{れんけい}して、一緒に子どもに対応^{たいおう}することが必要^{ひつよう}です。

まず、学校^{がっこう}の先生^{せんせい}に相談^{そうだん}し、話し合^{はな あ}うことが大切です。

※ 学校^{がっこう}以外の相談場所^{そだんばしょ}

もしも学校^{がっこう}の先生^{せんせい}と相談^{そうだん}しにくい場合は、大阪府^{おおさかふ}子ども家庭センター^{こ かにい}等^{とう}でも不登校^{ふとうこう}について相談^{そうだん}できます。

P31の「相談窓口一覧」の「子ども家庭センター・児童相談所」の「一覧表」を見てください。